

【依頼方法】

1. 実施希望日の2ヶ月前までに別添「専門・認定看護師 講師依頼用紙」をFAXにて地域連携課へ送付してください。
2. 講師調整後、地域連携課から依頼者様へ連絡し、実施日程等を双方の都合に応じて決定いたします。
3. 講師依頼文書3通（病院長、看護部長及び講師あて）を同封し、地域連携課へ郵送してください。
講師依頼文書の様式は別途説明しますが、①研修テーマ、②日程、③対象者、④概要、⑤講師名を必ず含めていただくようお願いいたします。

【専門・認定看護師一覧】

急性・重症患者看護専門看護師	奥田 美香
がん看護専門看護師	酒井 美紀子
感染管理認定看護師	垣内 由美、 岡本 真一
皮膚・排泄ケア認定看護師	大川 恵美、 林 恵里、 小林 葵
小児救急看護認定看護師	渡邊 圭子
集中ケア認定看護師	高橋 知江、 太田 美佳
救急看護認定看護師	上山 一樹、 奥田 美香、 鈴木 麻那
新生児集中ケア認定看護師	松野 薫
摂食・嚥下障害看護認定看護師	服部 節子
手術看護認定看護師	伊藤 大輔
がん性疼痛看護認定看護師	川瀬 佐登美
がん化学療法看護認定看護師	服部 利恵、 谷口 智香子
緩和ケア認定看護師	小林 佑佳
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	木嶋 美穂
認知症看護認定看護師	山本 理恵子、 藤ノ木 啓太

【各分野の研修テーマ例】 ※研修テーマは一例であり、ご要望により対応いたします。

分野名	分野紹介	研修テーマ例
急性・重症患者看護 専門看護師	急性期を中心とした看護ケア実践を始め、倫理課題の検討、他分野や地域との調整機能の構築、様々な教育、研究に関する支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・フィジカルアセスメントの基本 ・在宅人工呼吸器管理の基本 ・精神科救急に関する基礎 ・ACP(アドバンスケアプランニング) ・臓器提供医療 ・倫理調整 ・医療安全管理

分野名	分野紹介	研修テーマ例
がん看護専門看護師	<p>がん患者さん、ご家族の抱える様々な問題を一緒に明らかにし、最善の道を選ぶことをお手伝いします。</p> <p>現在はがんサポート室におり、在宅療養を目指すがん患者さんにおいては、サポートして頂く地域の方との連携を大切にし、何でも相談できる窓口となれるよう尽力しております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の意思決定支援 ・スピリチュアルペインを理解する ・がん看護における倫理問題 ・トータルペインから見る痛みの緩和 ・オピオイドを使用するがん患者の痛みのコントロール
感染管理	<p>施設に関わるすべての人(患者さん、ご家族、訪問者、職員)や環境を対象に、どうすれば感染リスクを最小限に抑えられるか、対策を計画、実践、評価し「安心・安全なサービスが受けられる、安心して働ける」環境作りを目指して活動しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい手洗いで感染予防！ ・正しい手洗い方法や手洗いのタイミングについて(手洗いチェッカーによる洗い残しの確認も可*要相談) ・感染対策の基本:標準予防策について ・个人防护具の着脱手順について ・毎年流行する感染症対策について(例:ノロウイルス感染症・インフルエンザ発生時の対応について、吐物処理の実際について) ・食中毒の原因と予防 ・薬剤耐性菌の感染対策 ・感染対策お悩み相談など
皮膚・排泄ケア	<p>褥瘡などの創傷管理、及びストーマ・失禁などの排泄管理ケアをより専門的に行う看護師です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現場ですぐに役に立つ「ポジショニング」のコツ！ ・高齢者におけるスキン-ケアの予防とケア方法 ・在宅に役立つストーマケア ・基礎から学ぶ排泄ケアなど
小児救急看護	<p>小児救急看護を必要とする場面において、子どもの権利擁護を尊重し、安全・安心が守られた医療・看護が行える環境をつくります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものBLSについて ・救急場面における緊急度の判断方法と対応 ・虐待の早期発見と対応方法など

分野名	分野紹介	研修テーマ例
集中ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の危機的状態にある患者に対しフィジカルアセスメントを通して悪化させないケアを実践しています。 ・家族看護に取り組んでいます。 ・早期リハビリテーションを導入し、障害を最小限におさえた看護を実践しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践フィジカルアセスメント ・クリティカルケア看護 ・人工呼吸器ケア ・人工呼吸器に離脱にむけた取り組み ・早期リハビリテーション など
救急看護	<p>私たちは、院内外で生じる患者への応急手当てやトリアージ(緊急度判定)、急に状態が変わった時の対応方法や、状態を変えさせない対応方法を実践、スタッフへ指導しています。更に、災害が発生した際のスムーズな初動体制を構築できるように考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法を練習しよう ・応急処置、急変時対応を練習しよう ・緊急度を見極めよう ・災害初動時の対応を考えよう
新生児集中ケア	<p>急性期にある新生児の病態変化を予測し、重篤化の予防に努めます。また、生理学的安定を図り神経行動学的発達が促せるよう看護ケアの提供を行い、不安な思いを抱える家族に寄り添い、看護を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児や低出生体重児の看護 ・新生児蘇生法
摂食・嚥下障害看護	<ul style="list-style-type: none"> ・嚥下チームの一員として、医師、病棟看護師、言語聴覚士、管理栄養士と協力し、嚥下機能(食べる能力)を評価しています。そして、個々の患者様に必要な嚥下訓練を提供しています。 また、患者様が食べやすい食事(嚥下食)を提供しています。 ・摂食・嚥下障害看護の研修会を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・嚥下の基礎を理解しよう ・嚥下機能評価ができるようになろう ・嚥下障害に関するフィジカルアセスメントを理解しよう ・嚥下訓練方法について(間接訓練・直接訓練、摂食姿勢など) ・嚥下調整食やとろみ剤について ・誤嚥しないように安全に食べるための方法
手術看護	<p>患者の手術侵襲が最小限になるよう、二次的な合併症を予防し、術後の早期回復を促進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡・神経損傷を起こさない手術体位 ・麻酔や手術侵襲を考えた術中看護 ・周術期の体温管理と看護

分野名	分野紹介	研修テーマ例
がん性疼痛看護	がんの痛みを有する患者さんに対して、薬物療法の知識を活用し苦痛を緩和することで、治療に専念できる環境、その人らしく過ごせる時間を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの痛みを理解する ・がん性疼痛治療を理解する ・がん性疼痛治療に関係する薬物療法について ・がんの痛みを和らげるケアについて
がん化学療法看護	化学療法が安全・安心・確実に実施できるように、患者・家族の意思決定支援や、看護師の投与管理、患者のセルフケアの能力を活かした副作用対策について一緒に考え、お手伝いさせていただきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・化学療法に関すること ・副作用やセルフケア、アピアランスケアに関することなど
緩和ケア	緩和ケアとは、患者様とその家族の心身のつらさ・苦しみを和らげ、QOLの改善に努め、“自分らしさ”を大切にします。身体的な痛みだけでなく、精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルな痛み(＝トータルペイン)を緩和出来るようなケアを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア ・トータルペイン ・看取り・エンゼルケア
脳卒中リハビリテーション看護	脳卒中発症早期から機能障害に応じたリハビリテーションが行えるよう他職種と連携し、個々の想いに沿った生活が送れるように回復支援を行えるよう考えています。	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中発症予防や早期発見に関すること ・看護師で行う脳卒中発症後のリハビリテーション
認知症看護	認知症の人が抱える問題や苦痛に寄り添い、老年期の特徴を考慮した上で安心・安楽に過ごせるような看護実践を行っています。また病だけでなく、「様々な生活史を背景に持つ一人の人間」という視点を重視した看護実践を目指しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の発症予防について(食生活、運動習慣や生活習慣病と認知症の関連について) ・アルツハイマー型認知症の病期に応じた介入方法 ・4大認知症について(レビー小体型認知症、脳血管性認知症、アルツハイマー型認知症、前頭側頭葉変性症)の症状の違いなど ・認知症ケアの理念(パーソン・センタード・ケア)と考え方など